

いきものと なかよし

| | | | | | |
|-----------|--|------|---------|--------|-----------|
| 配当時数 | 8時間 | 配当時期 | 1年9-10月 | 教科書ページ | 上巻 p56-65 |
| 特に中心となる内容 | (7)動植物の飼育・栽培 | | | | |
| 単元の目標 | 身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。 | | | | |
| 単元の評価規準 | <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらは生命をもっていることに気付いている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや変化の様子に関心をもって働きかけている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、動物への親しみをもち、大切にしようとしている。 | | | | |

※教科書では、バッタやコオロギ、ダンゴムシの飼育を例にしている。

※日常的な世話は、配当時間外とする。

| 小単元の目標 | 学習活動 | 重点評価規準 |
|---|--|---|
| <p>いきものと なかよし いきものを見つけよう</p> <p>3時間／上 p56-59</p> <p>目標 生き物について話したり、生き物を探したりする活動を通して、実際に生き物を探したり見つけたりすることができ、積極的に関わり、飼育したいと思うことができるようにする。</p> | <p>①生き物と関わった経験や、生き物について知っていることを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真を見ながら、知っていることや飼育経験などを出し合い、生き物と仲よくなりたいという思いをもつ。 <p>②校庭など身の回りで生き物を探し、飼育する生き物を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師は、事前に校庭や公園などにどんな生き物がいるのかを把握しておく。 <p>③どんな生き物がいたかを伝え合う。</p> | <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場所で生き物を探したり見つけたりして、生き物に関わっている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生き物について、関心をもち、積極的に関わろうとしている。 |
| <p>いきものと なかよくなるう</p> <p>4時間／上 p60-61</p> <p>目標 世話や観察を通して、特性を捉えることができ、生き物に生命があること、さまざまな生態があることに気付き、その特性や様子に応じて飼育環境や世話のしかたを見直そうとすることができるようにする。</p> | <p>■継続的に世話や観察をし、生き物の成長を記録する。【常時活動（配当外）】</p> <p>①生き物の様子をよく見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色や形、音、動き方など、さまざまな視点から、生き物の様子を観察する。 ・必要に応じて、タブレット等で写真や動画に残してもよい。 <p>②様子に合わせて、すみかを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕まえた場所に着目し、飼育環境を整える。必要に応じて、捕まえた場所を再度見に行ったり、図鑑や本で調べたりする。別冊「ひろがるせいかつじてん」p17-19を参照してもよい。 <p>③生き物と関わって気付いたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の様子や、生き物と関わった | <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物には、生命があり、さまざまな生態があることに気付いている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物を観察することについて、色や形、音、動き方などを意識しながら、生き物の特性を捉えている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の特性や様子に応じて、飼育環境や世話のしかたを見直そうとしている。 |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>自分について、気付いたことを共有する。写真や動画などを用いてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察した後の生き物をどうするか、児童自身で考える。 | |
| <p>いきものと なかよく なれたかな</p> <p>1時間／上 p62</p> <p>目標 生き物と触れ合い、繰り返し関わることで、適切に飼育することができたことに気付くとともに、生き物に心を寄せ、これからも生き物を大切にしようとするようにする。</p> | <p>①活動を振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの記録などを見ながら、友達との対話の中で活動を振り返り、本単元でしたことや、もっとやってみたいことなどを書く。 ・世話をした生き物に対して、手紙を書く活動を行ってもよい。 | <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物と触れ合い、繰り返し関わることで、適切に飼育することができたことに気付くとともに、生き物に心を寄せ、これからも生き物を大切にしようとしている。 |
| <p>どうぶつを かおう</p> <p>配当外／上 p63-65</p> <p>目標 小動物の飼育を通して、それらの育つ場所、動きや様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや、成長していることに気付くとともに、動物への親しみをもち、大切にしようとするようにする。</p> | <p>■継続的に世話や観察をし、生き物の成長を記録する。【常時活動（配当外）】</p> <p>①生き物の様子をよく見たり、触ったりして、生き物に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師は、活動前に、保護者に対して児童のアレルギー調査を必ず行っておく。 ・怖がる児童には、無理に触らせず、その時点でできる範囲で関わらせる。 <p>②すみかを整え、餌をあげたり、掃除をしたりするなど、世話をを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本で調べたり、獣医師等に助言をもらったりしながら、飼育環境を整える。 ・給仕や掃除などの日常の世話についても当番を決めるなどして実施する。 <p>③生き物の様子を観察し、気付いたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育を続ける中で、気付いたことや考えたことなどについて、伝え合う。 ・教師は、気付きをいつでも表現できるよう、カードや掲示板を用意する。 | <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物が生命をもっていることや、成長していることに気付いている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物の育つ場所、動きや様子に関心をもって働きかけている。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物に親しみをもち、大切にしようとしている。 |